

31年度

研究調査物綴

(II)

ままごと遊ばせの場合に於ける幼児の結合 II Ⅲ 資料整理

媒介

| | 遊具 | 作品 | 言葉 | 動作 | その他 |
|-----|--|--------------|-------------------------|-----------|---|
| 11. | 14 e. d. h. i. j. k. l. k. x | | | / | |
| 12. | 9 e. g. h. j. k. p. x. w. x | | 3 c. e. e. z | | |
| 12. | 12 | | / | / | |
| 13. | a. d. e. f. g. h. i. j. m. n. o. p | | d' | g | |
| 11. | 9 c. g. h. k. j. k. l. o. u | | 4 a. b. d. i. | / | z 容 m 容 p |
| 12. | 6 a. e. d'. k. l. o. | 3 g. h. m | 5 e. o. f. r. n'. n' | / | z 人間 1 算計 |
| 12. | z d. f | | 6 k. h. k. l. o. c | | d. l'. q 算計. 人間. 人間 |
| 12. | 7 e. f. g. h. k. l. n | | 4 a. c. c. m | / | |
| 11. | 8 k. e. n. d. g. i. j. o. z. p | | 1 a. m. z | / | 5 人間 算計 算計. 人間. 人間 算計. 人間. 人間 算計. 人間. 人間 |
| 12. | 15 a. d. e. k. l. m. n. o. p. q. r. s. t. u. v. x. y. z | | z k. h. | z o. n | 人間 人間 人間 |

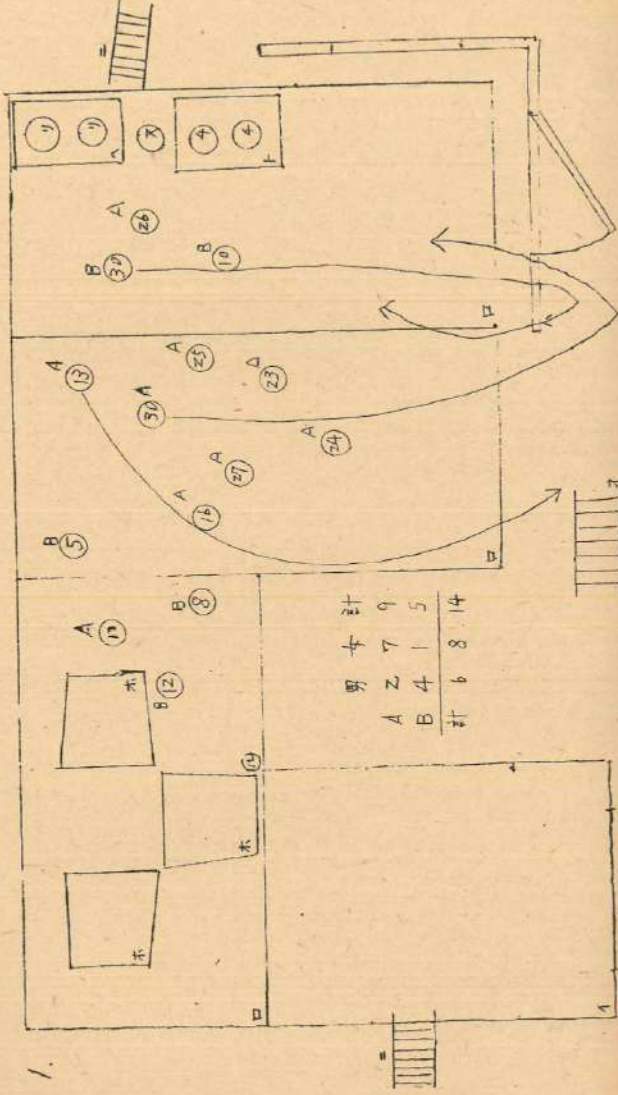
女子之遊火分佈圖

5才児

觀察者、今西

9時30分 ~ 9時40分

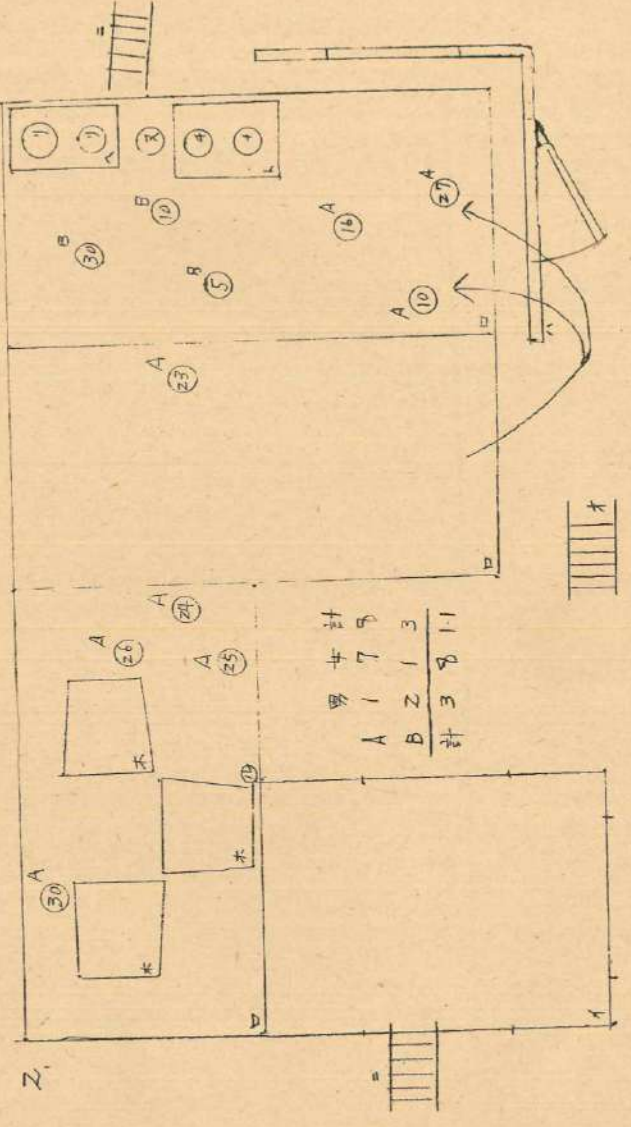
31年12月12日



| | | | |
|---|---|---|----|
| 計 | 9 | 5 | 14 |
| 男 | 7 | 1 | 8 |
| 女 | 4 | 6 | 10 |

イ 床
ロ 椅子
ハ 五子
ニ ぞく
ホ 三子
ヘ 三子
ト 火盆
チ 人形
リ 加が
ル 加が
レ 木
ヲ 木

(7)



| | | | |
|---|---|---|----|
| 計 | 9 | 3 | 12 |
| 男 | 7 | 1 | 8 |
| 女 | 2 | 2 | 4 |

(7)

幼児観察Ⅱ - 柱ごと遊びの場に見られる幼児の結合 - 4才児 I

昭和31年12月12日 晴

観察者 天橋 井関

観察時間 10.40 ~ 10.50

| 遊びの様式 | 交渉の経過 | 成員の構成 |
|---|--|--|
| <p>イ ⑬をわかせて ⑭⑮が あやあ。 ロ ⑰がごちそうをつくり ⑱⑲⑳㉑㉒を見る。 ㉓は外へ出ていく。 またしとてくる。</p> | <p>ア. ⑬が「おている。⑭は⑬にふとんをかけて、窓のカーテンをあけていく。⑮が「あいたらだのぞろ、こちら」と言う。⑰が「そんないおこたらだめですよ。と云う。 イ. ⑬が「⑭ののどをくすぐると、⑮が「こちらこちらとくらゐ真似をする。 ウ. ⑬の手を⑰が持って「ち、ち、ち、ち」といながら、指をさじる。⑲が「おれを見て、指で「きつねをつくる。 エ. ⑱が「⑲に「はなでたんか」と云う。⑲は「はなをふん。⑳も「おれを見て、はなをふん。 オ. ⑲が「⑱のふとんをなめます。⑳の足がきたので、㉑が「この子がせしめかばるやんか」と云って、足にふとんをかける。 カ. ㉑が「㉒を「⑱を「あやす。 キ. ㉑が「かごを取って来て、⑱に「おたし、かばる」と云う。⑱が「でんき」と云う。㉑が「かご」と云う。㉒が「かばる」と云う。⑱が「またでんき」と云うたら、㉑が「いけません」と云う。</p> | <p>あやさん ⑰ おんこ3人 赤ちゃん思 ⑱ おんこ3人 アキラとあやさん ⑱⑲⑳㉑ ⑲ 傍観と思おれその ㉑ ㉒</p> |
| <p>イ. ⑰がごちそうをつくり ところへたててくる。 ロ 上記に ⑳が入り ㉑が出る。 他から ㉓が入って来る。 ⑳E㉑が「入って来るとして さす。</p> | <p>エ. ⑰が「あやさんの上にごちそうをならべて、⑱のところに「おんこ」を置く。⑲も来て、⑳と㉑と一緒に⑰のちごちそうを見る。 イ. ㉑が「あや、あや」と云ってカーテンをあけると、⑰が「あつちへいっていらつしやい」と云う。㉑が「いや」と云うと、⑰が「あんたえいちゃんあつちへいって、みんなあつちへいって、みんといいて」と云うと、㉑⑲⑳が「あつちへいへいへい。 ウ. ㉑は⑱の袖をなまし、スプーンで「ごちそうをすく。これはあかすですよ」と云う。㉑が「あかすをこぼしたのて」⑱が「あああやさんこぼさしたのて」と云う。⑰は「いさよ」と云う。 エ. ㉑は「さあ、さあ、さあ」といって「せなからあとからこぼさしてきてあげます」と云って「はなすてくる。 オ. ⑰が「さあ、さあ、さあ」と云う。㉑⑲⑳が「おれを見て、㉑は⑱の側に寄り、㉑は窓のカーテンをあけてのぞく。㉑は「えい、ちやん、窓あけたらみせよ」と云う。㉑は「あめといた」と云うと、あやさん「このよ、さあ」と云う。</p> | <p>あやさんと ⑰ おんこ3人 赤ちゃん思 ⑱ あやさん思 ⑲ おんこ3人 アキラとあやさん ⑱ 上記に ㉑⑲の 入り ㉑が出る 傍観とみせよの ㉑ ㉒ ※ 遊具の「て... 全部 D.</p> |

幼児観察 II — ままごと遊びの場に見られる幼児の結合 — 4児

昭和31年12月12日(水) 晴

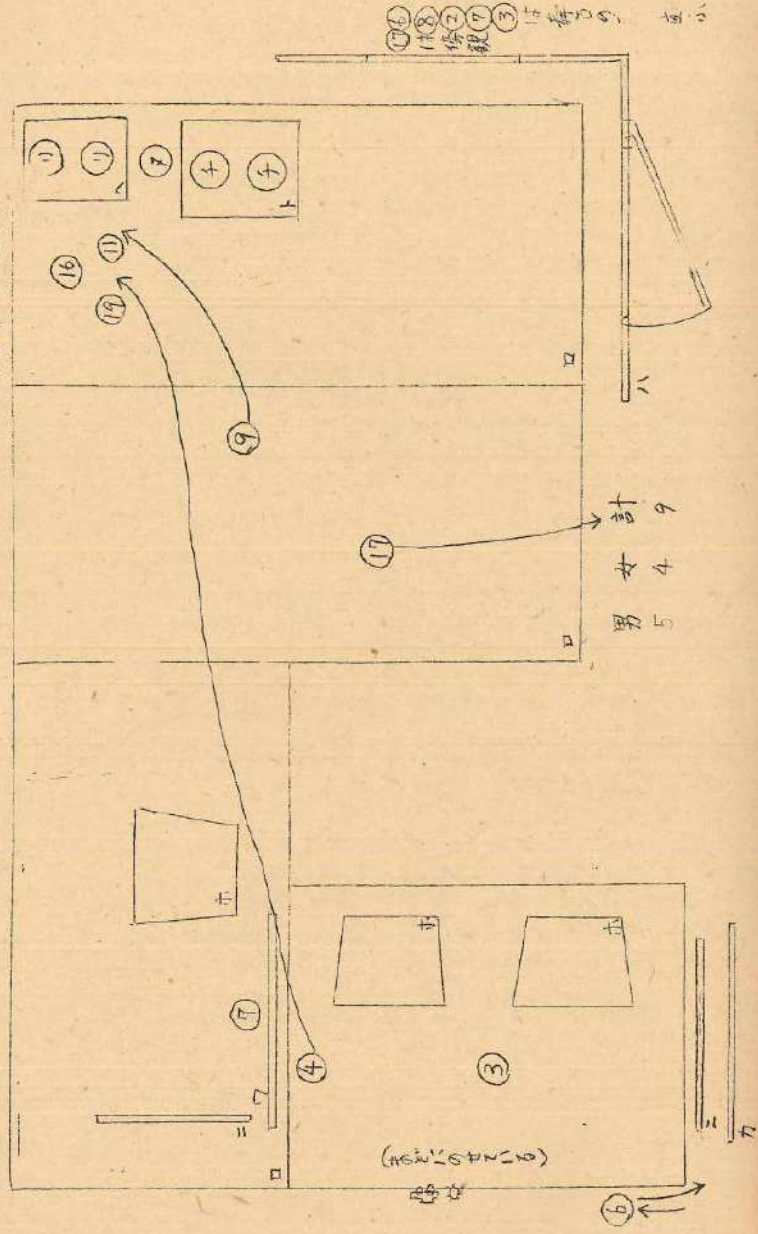
観察者 II 田中、III 大沢

観察時間 10時40分〜50分

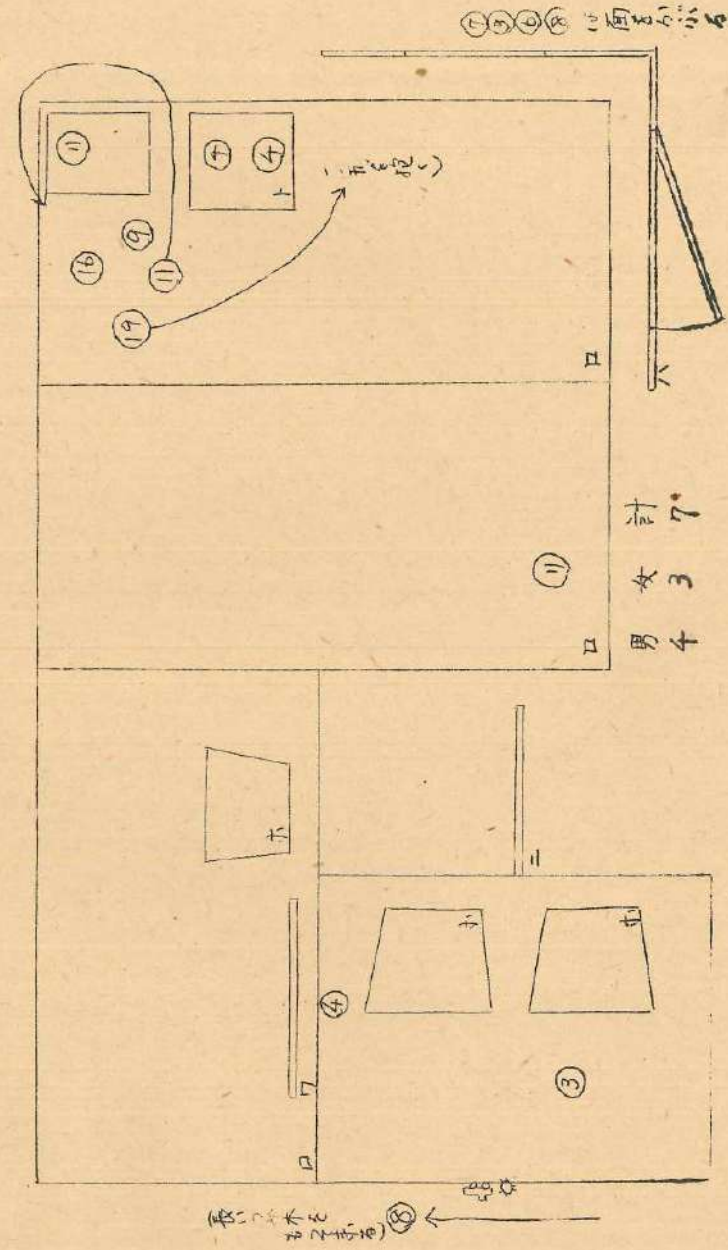
| II | | III | | |
|---|--|---|--|---------------------------|
| 遊びの様式 | 交渉の経過 | 遊びの様式 | 交渉の経過 | |
| <p>ままごと遊びを立 けている。 F(25)、F(29)</p> <p>窓に柵をかけた のぼる。 D(11)</p> | <p>a. F(25)が入って来る。 b. D(16)がF(29)に“入り”という。 c. F(25)が“まじって”という。F(29)が“まじって入 らしてもらい、みちろん入らしてもらい”とF(29)に いう。 d. D(11)が柵を取って家の窓にかけ“これかいいんやね” と叫び、その上に登る。 それをF(25)とF(29)が立ってみている。 e. F(29)が皆の靴のぬいであるのをみる。 f. D(11)が柵のかいいんはのぼって屋根を叩く。 D(16)がそれを見て“あこわ”という。 g. F(29)が皆の靴のぬいであるのをみる。 h. D(20)がD(16)に“もうーやん、みんないいこ”という。 i. D(23)が人形を抱いて、靴をはいて出かける。 j. F(25)が皆の靴を並べる。 k. D(13)が“まじ、まじてくれおまへ”とE(4)に叫ぶ。 l. D(24)が“みちこまじって”という。F(29)が “まじって入り”という。D(26)が“まじて”という。 F(25)が“まじる”という。 m. D(24)が靴のぬいあるところへ靴をぬぎにくる。 n. D(27)が靴のぬいあるところへ靴をぬぎにくる。 o. F(22)とF(26)が“うよよ出ていきました”という。 F(26)が“ここから出やんやあかんね”というので戸の 外に行く。そのあとからF(22)が“うよよ出て いきました”という。 F(24)が戸を閉める。F(22)が“しのたるやんか” という。</p> | <p>ままごとのお家の前 の椅子の所で ②③⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒ ⑳㉓㉔㉕㉖㉗ 人形をいっしょ してあそんでいる。</p> | <p>a. ②③⑦は人形を抱き下ろし②⑤にききちゃんここへ 座り歌をうたい下ろす。②は座らない。 b. ②⑤⑦は台所の方へ行く c. ⑩は“これはしごやで”短いなあ”という。 ⑰が“かせ”と柵をとる。 d. ⑰が柵をとったので⑧が“こりや何ぞくたくかん と云)。⑰は“さんやの”と⑤を叩く。 e. ⑩は人形を抱いて椅子に座る。人形に巾着を させている。⑳が“おまへ座り”と“さいいねこれ” という。⑩は“この子えういねん”という。 f. ⑩は人形の頭をなでる。⑩は人形の手を握り 踊らせる。⑳が来て“いやらしい子”という。 “足みたいね”と三人が云う。 g. ⑰が人形を奪いとる“うあ、うあ、うあ”と ②③⑦が叫ぶ。そして三人で何か相談する。 h. ②③⑦はままごとのお家の窓からぞぞき “やあ、いやあ”というが⑰が人形を屋根に のせる。三人は大沢に告げる。 ⑰は人形を屋根からおろす。②③は喜んで人形 を抱いて椅子の方へ帰る。 i. ⑩は⑰に相手になりに行っては“やあやあ”と ②③と窓からのぞく。⑰が走りかいて来ると 手を叩いて逃げた。⑰は、いざりやう二人は座る。 二人は逃げる。しばらくして⑰は他の方へ行く。 j. ②③は⑰に“こんなにはらいい”と椅子の向きを変え る。②③は“いらん”と言って椅子に座る。 k. ⑰は人形の服をいざり下ろす“この子一枚よ” という。②③は二枚とすよという。②③は寒 いやんやあかという。 m. ②③が来て人形をぬがす。②③は⑰に“おてもろん のか”と云う。②③は頭を横にふる。 n. ②③は人形をとる。②③は“かして、かして”とい うが②③は“いらん、いらん”という。</p> | <p>的確な 判断 かねる</p> |

31年12月12日
 ままごとと遊戯分布図
 10時40分—50分

3中児
 観察者 大橋



- カ — 長椅子
- 一 — 木製玩具
- ラ — 机
- ル — ほし
- ス — びん
- リ — かご
- ケ — 人形
- ト — 小とん
- ヘ — 井まご
- ホ — けし
- ニ — 文く
- ハ — びん
- イ — 家



カ
 ⑥

幼児観察Ⅱ — ままごと遊びの場に見られる幼児の結合 — 3才児

31年11月22日 木(晴)

観察者 長屋、大橋、井南、田中

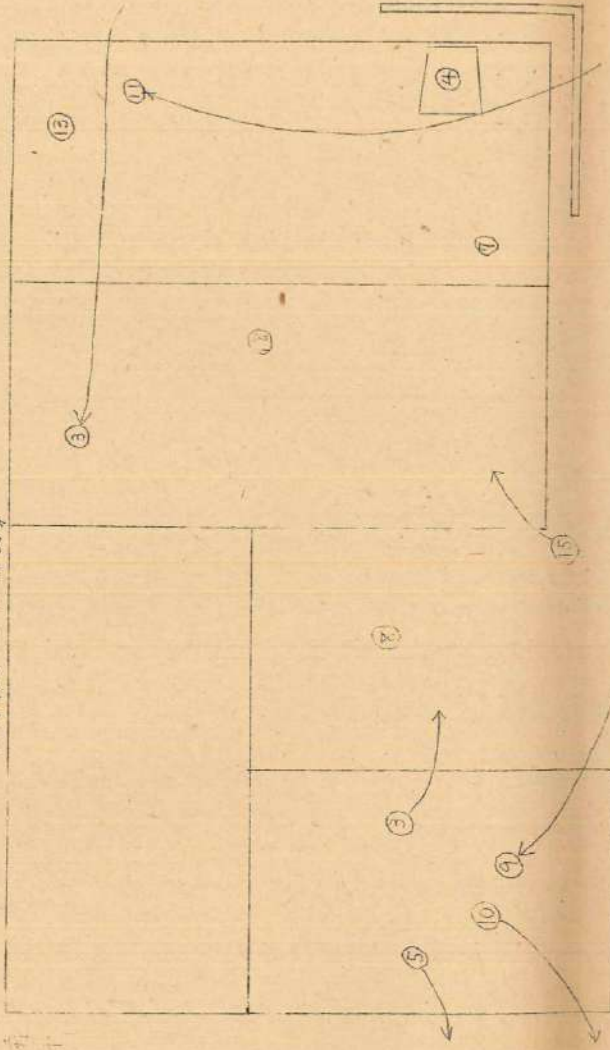
観察時間 10.40 ~ 50

| 遊具の様式 | 交渉の経過 | 成員の構成 |
|--|--|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> 傍観 ⑪ こらそ作り ⑬⑭④ かごのふりを持て ⑮ 砂をふる ⑬ 主交渉のあったもの <ul style="list-style-type: none"> ⑬と④ ⑦と⑮ ⑦と⑮ ④と⑪ | <p>a. ⑬がおせんの前へ坐つてスプーンでまねに砂を入れる。⑮がそれを見ている。</p> <p>b. ⑦が人形をふとんにくんで持つていく。</p> <p>c. ④が椅子の上に、まねいたをのせて、その上に人形を坐らせ、自分もする。</p> <p>d. ③が「あぶない あぶない」といつて入つて来る。</p> <p>e. ④が⑦に「しんべんかして」といつ。③が「じんべとちかご」といつてそれをあげる。</p> <p>f. ④が「これじんべや おまはん 茶にいってんね」といつてそれを掲げて人形にさせる。</p> <p>g. ⑮が「かごにふるりをに入れて来て、お米こんどおいしそやぞ先生 これお米、これやろ」といつて砂の入つたますを大橋に渡す。③が「それがお米か」といつ。</p> <p>h. ⑦が人形をねがしてふとんをかける。その上に馬のりになつて「おうれへん」といつて、花を取り、まね板と人形の上ののせ。</p> <p>i. ⑮が砂を入れた茶碗を持つて おもちや箱の方へ行き、花をさつて つい立の竹へ来て、砂の入つた茶碗を皿にのせ、砂の上へ花をのせる。</p> <p>j. ⑩が靴のまゝ入り「ふとん」といつてふとんを持つて出る。</p> <p>k. ④がカーテンを上げて「なんがたのねや なんがほしかつたら」といつて⑬のそばにある砂をたぎらつて取る。</p> <p>l. ⑮が「かいてやあぞ」といつ。⑪が「ははん」といつ。</p> <p>m. ⑦が④に「ほうじないか、ほうじないか」といつ。④が「ないか」といつ。⑦が「しゃもじかえて」といつ。</p> <p>n. ⑬が「しゃもじか、しゃもじかしたけ」といつ。⑦が「しゃもじを取り、人形のそばへ行く。</p> <p>o. ⑬が⑦に「ちよと、しゃもじ」といつ。⑦が「うんちよと、まてや」といつ。</p> <p>p. ④が⑬の持つてゐるお茶碗をとりながら「人形さん病変やよつて、お菓りや」といつ。⑦が「人形さんここ、こぶできたさかいぬつてはね」といつ。⑪がそれを見て「ははん」といつ。</p> <p>q. ⑮がふるりを4つ積んでかごに入れて持つて来て、ふるりをぬす(ふるりの中に砂を入れた茶碗が4つ並んでゐる)⑦が「あやそや、どつちへやろはんねやわ」といつ。⑮が「玩具箱へスプーンを取りに行く。⑦が⑮の腕の砂をスプーンで取らうとする。</p> <p>r. ⑮が帰つて来て「これかして」といつてスプーンをさす。⑦が「うカーん ほくのない」といつて泣き出す。玩具箱の行方。</p> <p>s. ⑦が「またもどつて来て⑮に「しゃもじかして」といつ。⑮が「なんて」といつ。⑦が「はく先やで」といつ。⑮が「おんねんかやで」といつ。⑦が「はく先 かつたんかぞ」といつ。⑮が「仲間に入つて他の物を渡す⑦が「いらん」といつて玩具箱の方へ行き「しゃもじかして」といつて来る。</p> <p>t. ④が⑮の使つた台をひき返す。⑪が「いたいた」といつ。④が「いたいた」といつ。⑪が「まねしてらんか」といつ。</p> <p>u. ④が「ごんげつ いつたらか、なにいつてんね」といつ。⑪は つい立の方へ行く。</p> <p>v. ③が入つて来て、まねいたの上に砂をのせる。</p> <p>w. ⑮がふるりを持つて来て、砂をふる。腕の中に入れる。</p> <p>x. ⑪が「お花あらへん」といつて来る。</p> <p>y. ④が「カレーライス は なかなかたけへん」といつ。④が⑬に「ちよと砂ちよたけや」といつて⑬の持つてゐる砂を手でつかむ。⑬が「そんなんしたろ、こぼれるやんか」といつ。④が「トーン、トーン、トーンかして」といつて取らうとする。⑬は「あこにあるわ、あこにあるわ」といつ。④は家に向つてふるりを持つて来る。</p> <p>z. ③が「トーンはトーンは」といつて来る。⑬が「あこにあるわ」といつ。</p> <p>aa. ⑪が茶碗に砂を入れたら、ジャンジャンと泣いてゐる。⑮を見て「へん」といつ。</p> <p>ab. ④が「なんかにするね」といつて、ふるりを持つて来て「ふごのこや 入れよ」といつ。</p> <p>ac. ⑬が一人でふるりで砂をふる。腕に入れ、その上に葉っぱを入れ⑦の使つてゐる葉を取る。⑦が「たまつてみている。</p> <p>ad. ④がふるりで、砂をふる。「あーあ」といつ。「あまた もうあまた、こんたけしたらあまた、あまたもた」といつてふるり、砂をふる。腕に入れて、かまどにのせて「フコウやつて、たいたんね」といつて笑う。</p> <p>ae. ⑮が茶碗に砂を入れたのを持つて、ついでの方へ行く。</p> <p>af. ⑮が砂の入つた茶碗を持つて、人形の上ののせる。</p> <p>ag. ⑦がそれを見て「こら赤ちゃん、かあ、そや、そいかに」といつ。⑮はたまつて立つて行く。⑦が砂を入れた茶碗の上へ葉をのせて、人形の上ののせる。</p> | |

31.11.19

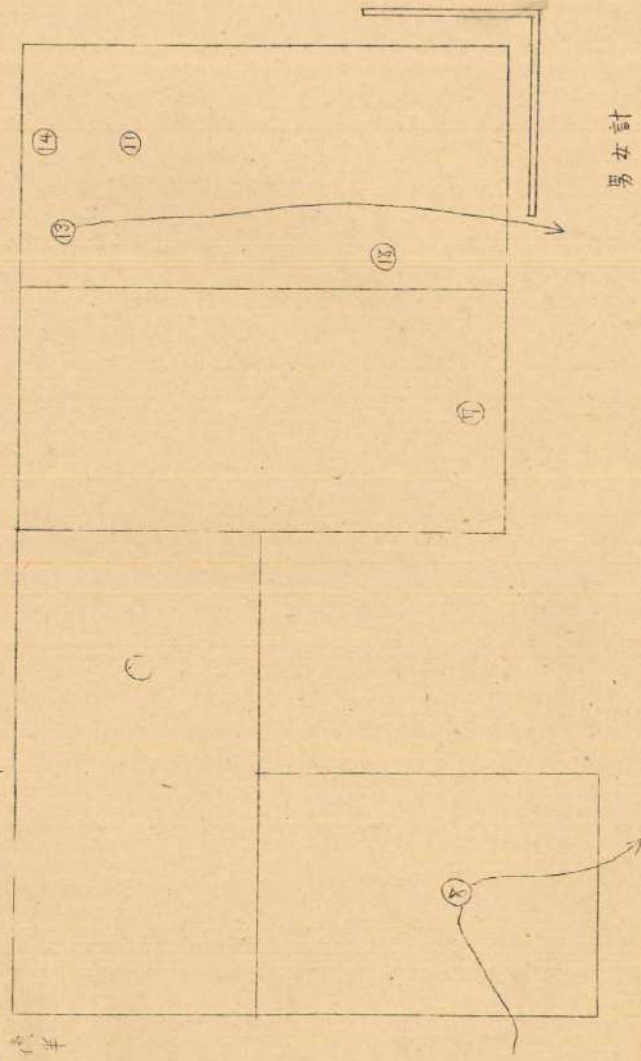
まきごと遊び分布図
10時40分～10時50分

3才児 観察者 森野



男女計
8 4 12

4



男女計
4 3 7

幼児観察Ⅱ — ままごと遊びの場に見られる幼児の結合 — 4才児

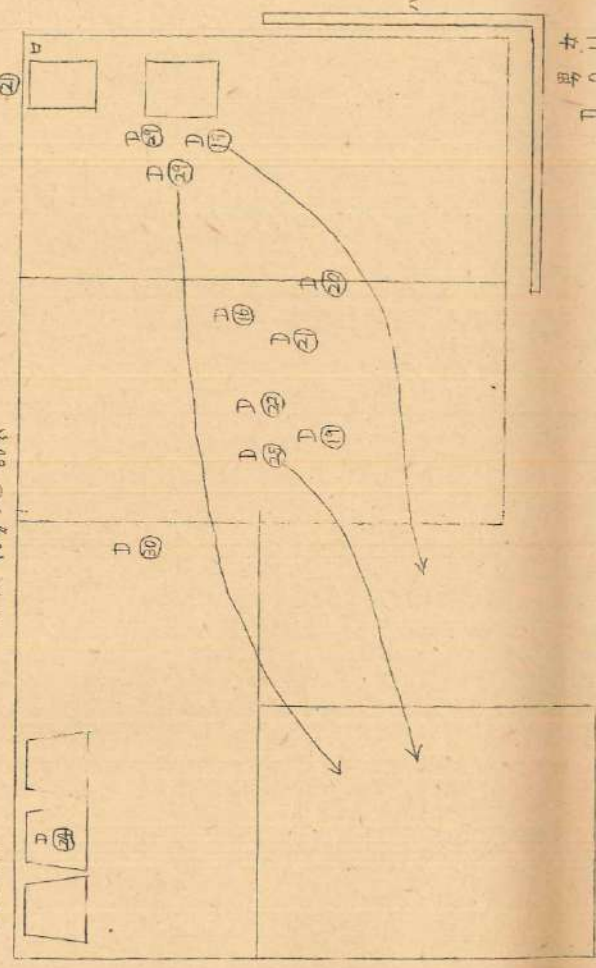
11月19日(月)晴

観察時間 10.40~10.50

観察者 今西 大次 井岡 正田

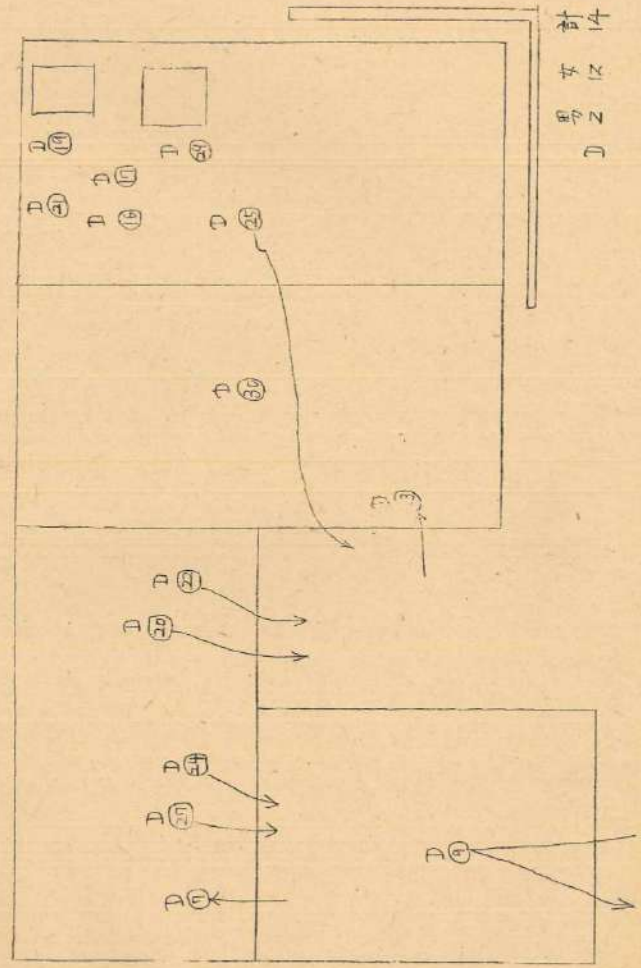
| 遊びの様式 | 交渉の経過 | 成員の構成 |
|--|---|--|
| <p>D. ⑭⑮⑯⑰⑱⑲</p> <p>⑳㉑㉒㉓㉔㉕</p> <p>は同じ道具を用いて、家族となり</p> <p>ままごと遊びをしてるらしい見受け</p> <p>手拭き道具</p> <p>⑳㉑㉒㉓㉔㉕</p> <p>E. ㉖が櫛の外から見てる。</p> | <p>a. ⑰が「水くんで来てちようだい」⑱にいう。⑱は「はい」と答えてお茶にする。</p> <p>b. ㉑が「おちやん」「この子だわらんなんや、わにし子供やで」と⑱にいう。</p> <p>c. ⑱が「砂かこぼれをみて、又こぼれまじわね」と方を見まわす。㉒が「どこにこぼしたる？」と云って、⑱のみを取る。⑱が「動かしたてんで」地表やで」という。</p> <p>d. ⑱が「砂かこぼれをみて、誰です」という。㉑が「おちやんです」と⑱を指している。</p> <p>e. ⑱は「生駒悦子とくは」という。㉑が「あやめ池」という。㉒が「どこへもつ水でとくおへん」という。⑱は「お母さん分けてはてすか」と⑱の肩を押さえる。⑱はたまごでみている。</p> <p>f. ⑱は「あーあ」といって「ほうきでけく」。</p> <p>g. ⑱は「お母さん あつね 大森ひろちやんがね、あつね ぶんちやけけつたわ、大森ひろちやん かんしちやけつた」という。㉑が「わかし (やへん) といいほうきでけく」。</p> <p>h. ⑱が「あつね 誰がこぼしたのてす」という。⑱が「せつかいけいけいのに、又けいてどういすしほう」という。㉒が「さつただけこぼれけつた」という。⑱が「さつた 大森ひろちやんや」という。㉑が「ほうき」という。⑱が「お水又こぼれまじわね」という。㉑が「(りまけんよ) いう。㉑が「せんから水くんで来て下すい」という。⑱が「くんで来てどうするの？」という。⑱は砂を拾う。</p> <p>i. ㉑が「宮島美樹ちやん あつね」という。㉑は返答なし。</p> <p>j. ㉑が「その赤ちやん わかしときなさい」という。㉑は「おらん」といってでかくていく。</p> | <p>お母さん ⑱⑲</p> <p>グループとみちゆう もの。D. ㉑㉒㉓㉔㉕</p> <p>㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕</p> <p>㉖</p> |
| <p>D. ㉖が入ってくる</p> | <p>a. ㉑が「あん、こぼれたら あつねせん」と⑱にいう。⑱は「けつたおちやん」という。㉑が「あんたつたらあつねです」といって、お茶を㉑より取る。㉑は渡す。</p> <p>b. ⑱が「お水？」「あつね 赤ちやん、おちやんはこぼれたらおちやんの」と方を見廻し、お茶にする。㉑と⑱と㉒、何か相談する。</p> <p>c. ㉑が「お母さん おちやん、おちやんはこぼれた」と知らせる。㉑が「おちやん、おちやん」という。</p> <p>d. ㉑が「おちやん、おちやん」といって、お茶をもらって出ていく。</p> <p>e. ⑱が「おちやんの子だ、おちやん、おちやん」という。㉑は「ほうき、ほうき、ほうき、ほうき、ほうき、ほうき、ほうき、ほうき、ほうき、ほうき」という。</p> <p>f. ㉑が「お母さん、おちやん、おちやん、おちやん」という。㉑が「おちやん、おちやん、おちやん」と⑱にいう。</p> <p>g. ㉑は「お水、おちやん、おちやん、おちやん」といって、おちやんの家の方へ行く。</p> <p>h. ㉑が入ってくる。⑱が「どうしておちやん、おちやん」といって、おちやんをたたく。</p> <p>i. ㉑が「おちやん、おちやん、おちやん」という。㉑が「おちやん、おちやん、おちやん」という。</p> <p>j. ㉑が「おちやん、おちやん、おちやん」という。㉑が「おちやん、おちやん、おちやん」という。</p> <p>k. ㉑と㉑は、おちやんをいすの上におちやんを「あつね、おちやん、おちやん」と笑う。又、おちやんをもらって来ておちやんをさせる。</p> <p>㉑が「おちやん、おちやん、おちやん」という。</p> <p>l. ㉑が「せんせい、おちやん、おちやん、おちやん」という。㉑は「おちやん、おちやん、おちやん」という。</p> | <p>おちやん</p> <p>D. ㉑㉒㉓㉔㉕㉖</p> <p>㉑㉒㉓㉔㉕</p> <p>おちやん</p> <p>グループとみちゆう もの、 上の構成に㉑ が入る。</p> |

31.11.19
 ままごと遊び分布図
 10時40分～50分
 4才児
 観察者 松野



前半

計 12
 女 11
 男 0
 計 12



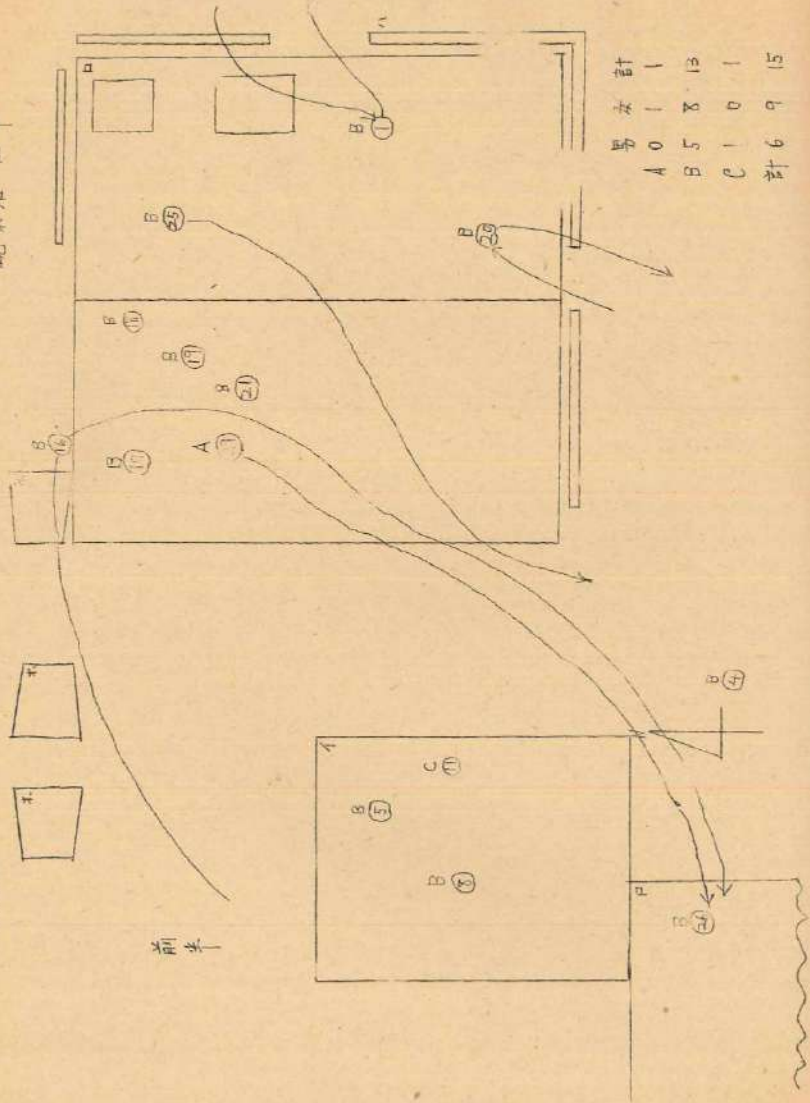
後半

計 14
 女 12
 男 2
 計 14

31.11.19

本、日と遊が分布図
9時22分～9時27分

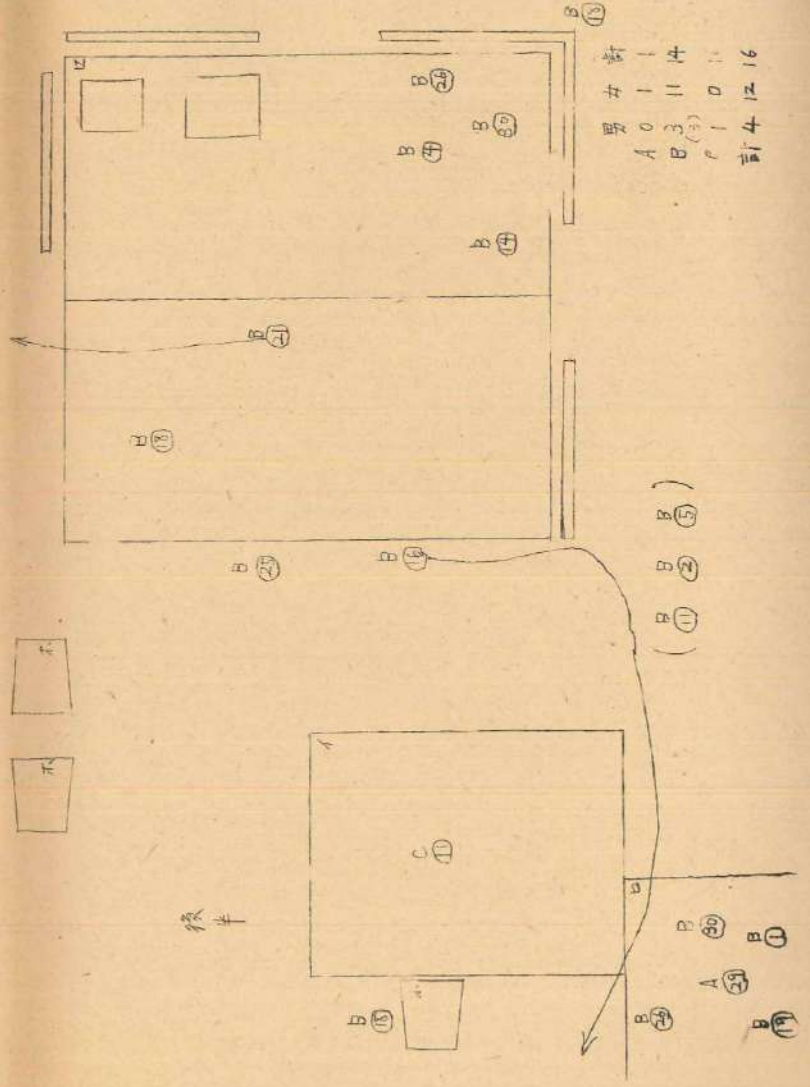
5才児
観覧者 田中



| | | | | |
|-----|---|----|----|----|
| 男女計 | 1 | 13 | 1 | 15 |
| A | 0 | 1 | 13 | |
| B | 5 | 8 | 0 | 1 |
| C | 1 | 0 | 1 | |
| 計 | 6 | 9 | 1 | 16 |

前半

後半



| | | | | |
|-----|---|----|---|----|
| 男女計 | 1 | 14 | 1 | 16 |
| A | 0 | 3 | 1 | 4 |
| B | 1 | 11 | 0 | 12 |
| C | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 計 | 2 | 15 | 2 | 19 |

(B B B B)
(B B B B)

まごど遊戯の場に見られる幼児の結合 I 資料整理

1. 成員の構成

| | グループ別人数 | | | | | 人数別 | | | リーダー | その他 | 領域外に出る | 領域に入る |
|------------|---------|----|----|----|------|-----|---|----|------|-----|--------|-------|
| | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人以上 | 文 | 母 | 姉 | | | | |
| 3才 | 11 | 1 | 0 | 0 | 0 | | | | | | 3 | 0 |
| 4才 (I, II) | 11 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 7 | | 4 | 4 |
| 5才 | | | | | | 1 | 0 | 1 | 7 | | 0 | 1 |
| | | | | | | | | 1? | | | | 1 |
| | | | | | | | | 1 | | | | 0 |

媒介

| | 遊具 | 作品 | 言葉 | 業 | 動作 | その他 |
|----------|---------------------------------------|------------|---------------------------------|---|-----------|--------------|
| 3才 | 10 a. c. d) d. e. e' f. g. h. o | 1 d. e) | 7 a. g. h. c' h' m. n | | 0 | 0 |
| I 4才 | 1 j | | 8 a. b. c. d. g. h. h. l | | 2 d. e | |
| II 4才 | 2 n | 1 h | a g j l | | 2 d f | |
| 5才 | 9 i. i. i' j' e. e' n. p. q | 0 | 6 c. e. f. h. h' o' o. h' | | 2 | 3 a. b. j |

子ども遊びの場における幼児の結合 I 資料整理

働きかけ

口

| | 意識的 | | | | | | | | | | 無意識的 | | | | | | | | | | |
|-----|---------------|---------------|--------|------------------------|--------|----------|----|----|----|----|---------------|-----|----|---------------|--------|---------|----|--------|--------|---|--|
| | 協調的 | | | | | 自己主張的 | | | | | | 強圧的 | | | | | | | | | |
| | 相談 | 提議 | 勸誘 | 依頼 | 質問 | 譲渡 | 仲立 | 承認 | 希望 | 世話 | 説明 | 誇示 | 主張 | 批判 | 揶揄 | 命令 | 干渉 | 排除 | 非難 | | |
| 3 才 | 1 g | 1 g | 1 g | 5 a.e f d) | 1 f | 1 d=) | | | | | 3 c.g h | | | | | 1 d' | | | 1 0 | 0 | |
| 4 才 | 3 d.f h | | | 2 a.b d.h | 2 | | | | | | 2 c.l | | | 2 e l | | | | | | | |
| 5 才 | 1 g | 3 a.f f | 1 h | 4 c.l n.o l.r | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 h | 1 | 0 | 2 a.p e | 1 l | 1 h | 0 | 1 g | 0 | 0 | |

反応

反応的

| | 協調的 | | | | | | | | | | 批判的 | | | | | | | | | | 拒否的 | | 反応的 | | | | | |
|-----|----------------------|--------|--------|----------------------|----|-----|----------|----|----------|----|---------------|----|--------|----------|----|-----------------|----|---------|----------|----------|--------|--------|---------|----|----------------------|---|--|--|
| | 積極的 | | | | | 消極的 | | | | | 肯定的 | | | | | 否定的 | | | | | 強 | 弱 | | | | | | |
| | 提議 | 命令 | 希望 | 依頼 | 誇示 | 注意 | 承諾 | 忘答 | 許容 | 協力 | 同意 | 服従 | 承認 | 共同 | 共鳴 | 訂正 | 批判 | 拒否 | 否定 | 非難 | 辞退 | 威嚇 | 無視 | 逃避 | 強 | 弱 | | |
| 3 才 | 1 g | 1 g | | 1 c | 1 | | 2 a.d | 1 | 1 d=) | | | | | | | | | 1 d' | | | | | 1 d' | 1 | 7 g.l h.g 0 | | | |
| 4 才 | 6 h l.f l.g | | | 4 f.f l.l l | | | | | | | | | | | | 4 e.d l.f | | 1 e | | 2 h.d | | | | | | | | |
| 5 才 | 1 l.e.p i | 1 z | 1 0 | 1 0 | 0 | 0 | 1 h | 0 | 1 f | 0 | 3 a.c h | 0 | 1 a | 2 h.g | 2 | 1 f | 0 | 1 z | 1 e.p | 1 n | 1 l | 1 z | 0 | 0 | 1 l' | | | |

八

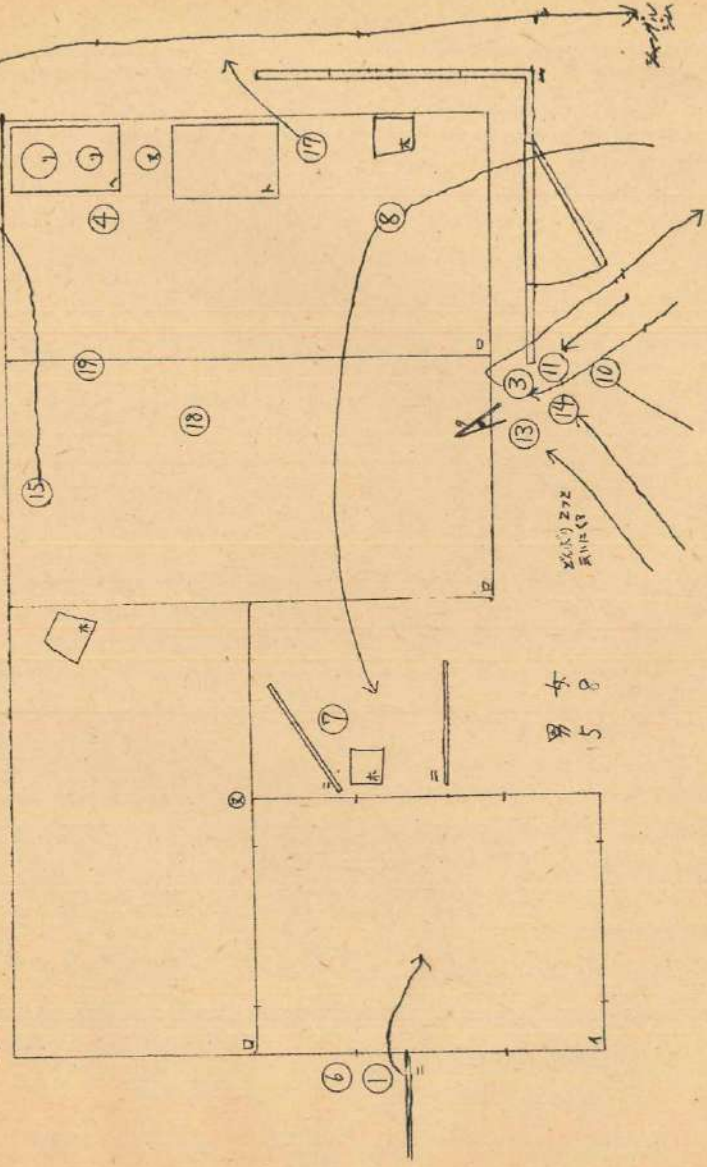
傷之加付

| | |
|----------|-------|
| 意識的 | 無意識的 |
| 自己的主張的 | 強压的 |
| 說誘所和批判 | 命令干排非 |
| 相協力來誘頼問渡 | 令誘除難 |
| 相協提勸依負讓 | |
| 仲問雜認 | |
| 參加祈世 | |
| 希望話 | |

反應

| | | |
|------|--------|---------|
| 協調的 | 反應的 | 反應孔 |
| 積極的 | 批判的 | 拒否的 |
| 承認 | 批訂祈和主張 | 否定難退赫視避 |
| 從意 | 判正張 | 拒否非許威無迷 |
| 仲間確証 | | |
| 承服 | | |
| 同協 | | |
| 許協 | | |
| 命所 | | |
| 實依 | | |
| 誇注 | | |
| 示意 | | |
| 願類 | | |
| 空問 | | |
| 明令 | | |
| 案明 | | |
| 提說 | | |

後半



幼児観察 I - ままごと遊びの場に見られる幼児の結合 - 3才児

11月15日(木)晴

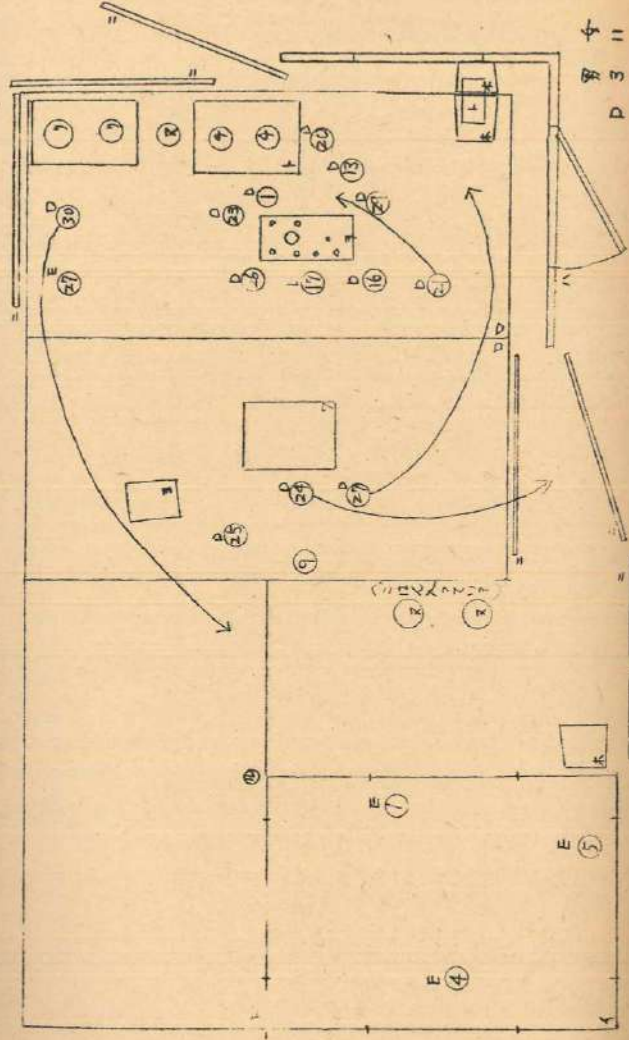
観察時間 10.40 - 10.50

観察者 今西、松野、正田、井関、分布、大橋

| 遊びの様式 | 交渉の経過 | 成員の構成 |
|--|--|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> ⑮はうすに砂を入れ、きねでついで方々を見渡す。 ⑰は真中に立っている ⑱は靴を揃える ⑲はうろうろ歩いている ⑳は、ほうきをもってはいている ㉑は、ぼんにあつたわんを⑮のそばにならべかえる ㉒は⑲のいすきについて廻る <ul style="list-style-type: none"> ④はごちそうをついてるところに行く ②はくしをもつて来る。ほうきをもつたのとからあけて押し入る。④がそのあとをいめる ④はカーテンを上にまくりあげようとする ④は⑮の位置にすわり、ごちそうを作る ⑰はくしをはいて外に出る ⑥は家の中に入って窓からこちらのごちそうを作っている方を見てみる。⑰は家になくもって来ていすにかけたり意にかりにりする。⑥と①が家の中からフツツ下りる ⑱がおぜんを出し、砂の入ったわんを並べ ⑲はわんを1つとり、ついでの方に砂を入れる ④は⑱と一緒に、ぜんの上にごちそうを並べる | <p>a. ②は「ほしごだれか見てんか」とつたらあかんでついたら怒ってね」と④に頼んでほうきを持ってほしごに行く。</p> <p>④は「ふーん」と返す。②は「いんわん」と窓から家の中に入って首を出す。</p> <p>b. ⑦は「ここから入らなれ」と家の所にもどって来て、うすにほしごをかける。ほうきを④に渡してのぼる。</p> <p>c. ⑦が「あんなところに積木あんな」といって屋根を見ると④が「なににな」と見る</p> <p>d. ④が「おせん一寸借して」といって、⑱は無言で「ごちそうを渡す。⑱はぼんを全部とって砂を出す。すると⑲は砂をすくってわんに入れる。⑲が⑱のぼんの側へいってわんを置く。⑱が「はい、ぼんたべよ、お茶入れよ」と一言をいう。</p> <p>e. ⑤が「ここはくねんぞ」出し、せんせ「あこりや」といながらほうきをいっはる。外にいる④からほうきをとり家の中にあき、すぐに外に出る</p> <p>f. ②が「校貸して」といってすくの外に出る</p> <p>g. ⑦は柵のほしごをつたって下り、「ここから人形上らせるねん」と人形をのぼらせる</p> <p>h. ④が「お借してくれ一寸これをもっていくな」といって「すくもつたての所へいすカーテンを上にまくりあげる。『いんわんたべよ』とあげたカーテンをさして先先にいう。</p> <p>i. ④がわんに砂を入れ「園長先生はい」と渡す。ついで大橋、正田先生にもつていく</p> <p>j. ⑦が柵を一つもつて家の所へ帰って来る。①に「おれが、お父さんやわん」といって、①は「おれもお父さんやわん」といって④と一緒に外側の窓に柵をほしごの柱にかける</p> <p>k. ⑮がぼんにごちそうを入れ大橋先生に出す</p> <p>l. ⑦が「このほしごのぼってまてんぞ」と中側の窓にかけたほしごから上り、④にいう。反応なし</p> <p>m. ③がくつど「こや」と入ってくる</p> <p>n. ④が「おぼんぞへやあてん」といって、誰にも反応なし。すると④は「こへのせよ」といってまなこをのせて井関先生にわたす</p> <p>o. ⑮が「おん下さい、うす、わんを貸して下さい、一寸おんがりにつもつて来て下さい」と走って来ていうが「たれも返事しない」</p> | |
| <ul style="list-style-type: none"> ⑱がバケツの砂をフライパンに入れる ⑲がバケツの砂をフライパンの中に入れて机の上におく ④がそれをいじっている | <p>p. ⑰は「たけいこちゃん、今一緒にいこうよ。さん、(何の事かよく聞かず)と叫んであつたら一緒にいこうよ、といふ。『おくおく(すんで来ました)』といふ。ほしごを下りる。⑥はぼんをほしごを下り、外へ出る</p> <p>q. ④は今日は平日曜日と人ごとをいう</p> <p>r. ⑱が「おんがりにさう、ほしごもつて来て下さい」といって又走って行く</p> <p>s. ⑱も「おんがりにさう、いっつて走って行く</p> <p>t. ⑱が走って来て、かみしはの台を倒すと⑱と⑲がその方を見る</p> <p>u. ⑱は⑲が来て倒れた台を家の中に入れる</p> <p>v. ⑱が「おせんをいじったぞ」と④は「いらわんといひ」といふ</p> <p>w. ④は「ぼんぞごちそうを今西先生にもつていく</p> | |

まきごとの遊ばし分布図 4分先
 10時40分～50分 視察者、正田

31年11月14日

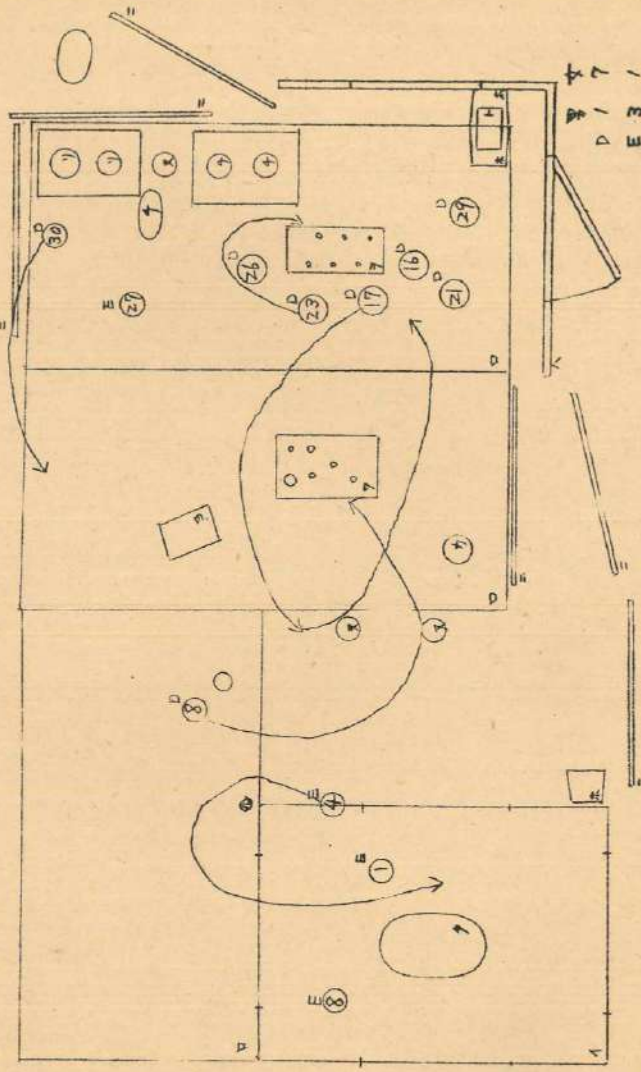


前半

| | | | |
|---|---|----|----|
| 男 | 3 | 11 | 3 |
| 女 | 1 | 1 | 3 |
| 計 | 4 | 4 | 14 |

- | | | | | |
|---|-----|---|----|---|
| イ | 家 | ケ | ケリ | 影 |
| ロ | ファミ | ク | ル | カ |
| ハ | 立 | ル | ル | バ |
| ニ | く | フ | フ | バ |
| ホ | す | ワ | ワ | バ |
| ヘ | ま | カ | カ | バ |
| ト | ま | | | バ |
| | ご | | | バ |
| | と | | | バ |
| | ん | | | バ |

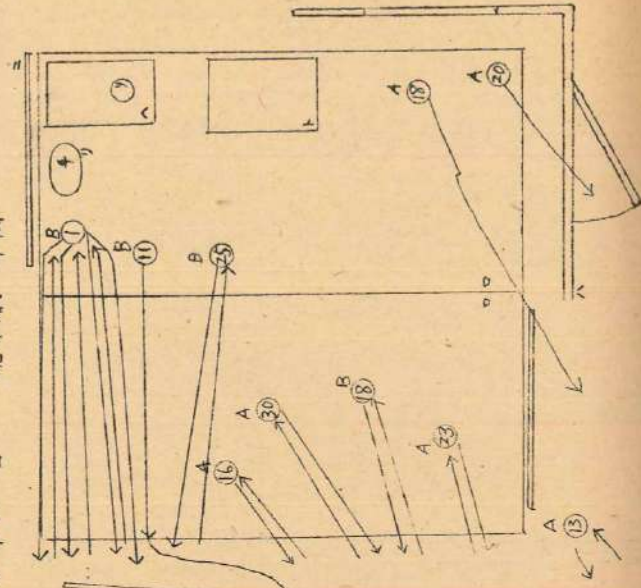
コ、一、机、卓



後半

| | | | |
|---|---|----|---|
| 男 | 1 | 7 | 1 |
| 女 | 1 | 3 | 1 |
| 計 | 2 | 10 | 2 |

井園 観摩者 遊び分布図 I

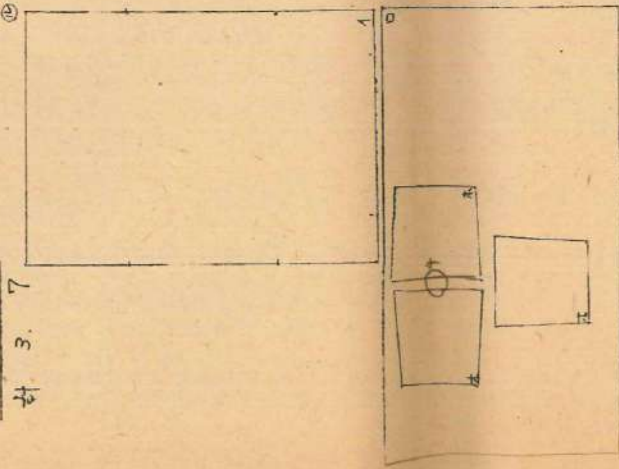


5才児
9時30分~40分

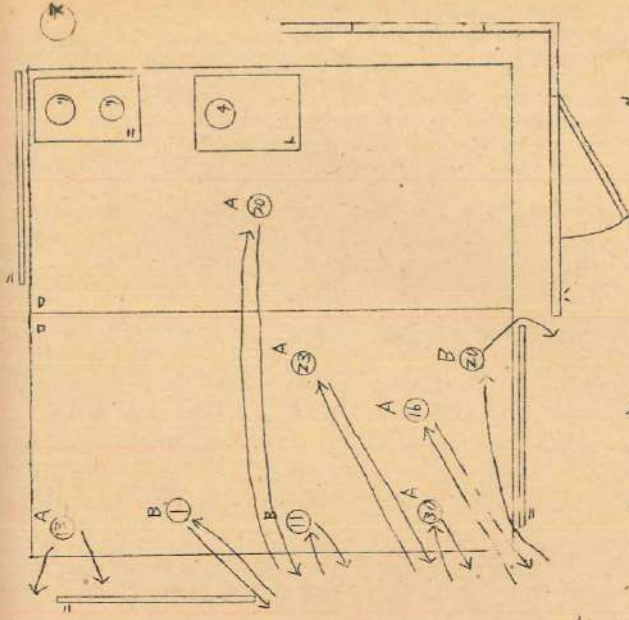
31年11月14日

前半

| | |
|---|---------|
| 次 | 5 |
| 男 | 1. 2. 0 |
| A | 3. |
| B | 7 |
| C | |
| 計 | |



後半



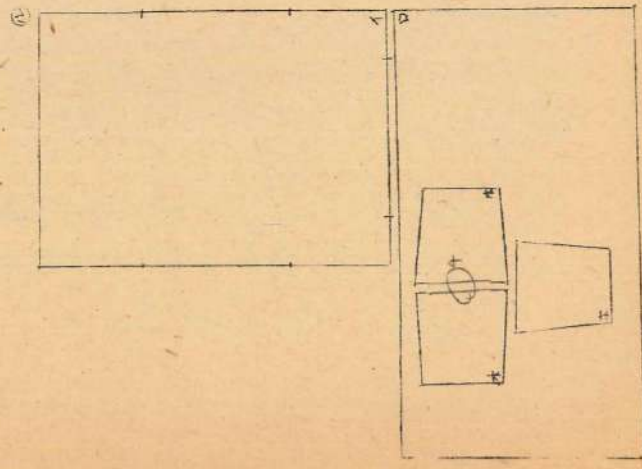
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 男 | 1 | 1 | 0 | 5 |
| A | 2 | 0 | 0 | 3 |
| B | 0 | 0 | 0 | 0 |
| C | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 3 | 1 | 0 | 5 |

- イ 家
- ロ 遊び場
- ハ 公園
- ニ 学校
- ヘ 商店
- ト 公園

- 大 人形
- 外 甲ご
- 又 パカツ
- ル ぼうき



北



幼児観察 I

まご遊びの場に見られる幼児の結合

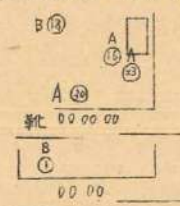
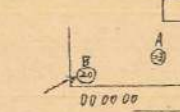
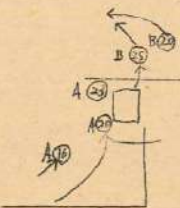
5才児

31年11月14日(晴)

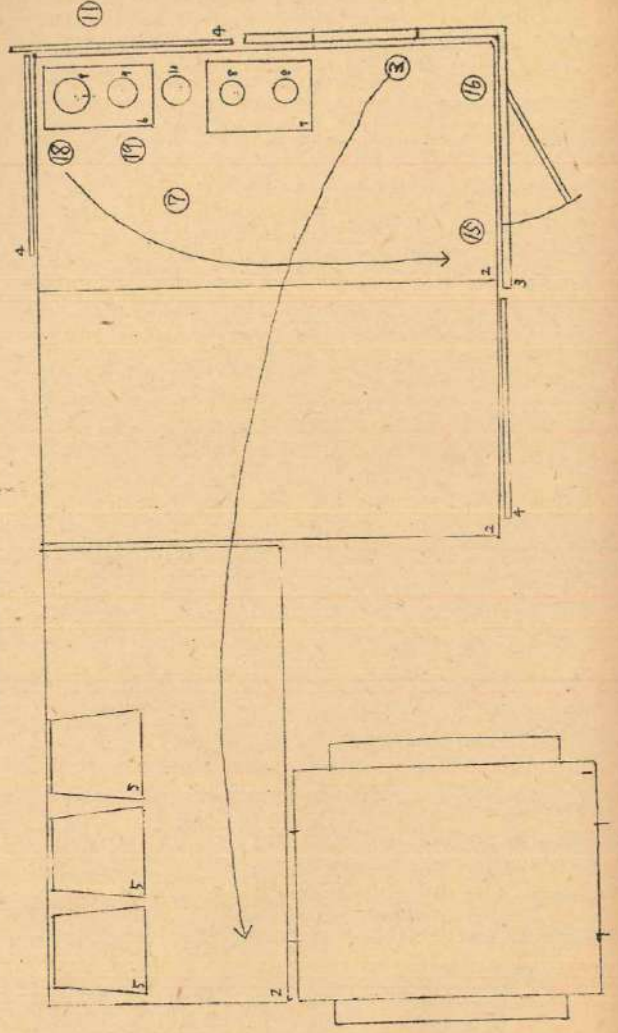
観察者: 長屋, 大沢, 田中, 松野

観察時間

9時21分 - 9時31分

| 遊びの様子 | | 成員の構成 |
|--|--|-------|
| <p>B(10)はほうきで座敷を掃く。 B(1)と(1)は交代に二輪車の走る。</p>  <p>B(10)はまごの 家へ行って掃く。 B(1)が来る。</p> | <p>a. A(10)が「園長先生」と言う。A(10)がA(10)の方を見て立っている。A(10)がA(10)とA(10)に「見てたろ、しんろうごはるの」と言う。A(10)が「まご」を見てたろ、と言う。 a'. B(10)がほうきで座敷を掃く。B(1)が柵の所を通る。B(10)が「何や、こうちゃんこんな所出るのと違うで」と言う。B(1)が「ごめん、ごめん」と出て行く。 b. A(10)が他の人の靴を並べながら「やーうのすけ、おっさいわ、つとみちゃんとうちとしたら」と言う。A(10)とA(10)スリ併って「どんたん」と言ってA(10)のそばに寄って来る。A(10)が「こうやろ、ちんちんわ、わがうへんわ、おんたじや」と言う。 c. B(10)がA(10)と(1)に「どいて」と言う。A(10)が「うん」と言って立つ。A(10)はB(10)の顔を見て立つ。A(10)とA(10)が立って出ていくと、B(10)は「ほんまにきれいになったやろ」と言ってついて行く。 d. B(1)が他の人の靴がぬいである所へぬぎに来る。 e. A(10)がB(10)に「おかあさん お万どうじですか」と言う。B(10)は「私おかあさんとちがいますよ、いいたがっごちゃんやで」と言う。B(10)は椅子の上の砂をほき落す。 f. B(10)が「まごからだよ」と言う。B(10)が「あかんで」と言う。 g. B(10)が「(1)に「先生あのはりがねさってほんが」と言う。 h. A(10)がB(10)の手を取ってB(10)のおおを見せよう「いたい」と言う。</p> | |
|  <p>B(10)が掃いている所へB(1)が来て一に砂を落とす。</p> | <p>i. A(10)が「こうちゃんーくみのてんしめつてはる」と言う。B(10)がB(1)に「のせてのせて」と言う。B(1)がB(1)に「かんちゃんすく来たるわ」と言う。 ii. B(10)まごの家の椅子の上の砂をほく。B(10)が「おみこはどへ行ったのがねえと云う。(1)が「おみこは赤ちゃんやで...」と云う。 j. B(1)がA(10)に「つとみちゃんくつかえしたろ」と言ってまごの中から靴を片手出してA(10)に投げる。A(10)靴を捨てる。 k. B(10)が「実あげようかと(1)に云う。B(10)「老人がもんいらん」と云って椅子の砂をほく。 无 B(10)が「やーうの靴にこみ」と云って人形をだいて入って来る。 A(10)が「買もんに行てき」とB(10)に云う。A(10)が「行て来まほ」と云ってB(10)の後ろからほうきを持ってついて歩く。</p> | |
|  | <p>長 B(10)が家へ来る。二人で砂を手でほらひのけろ。「とりにくいたあ」と二人が云う。 h. B(1)が「こうちゃんの靴かきした」とB(1)に云う。B(1)は「さーし」と言う。 i. B(10)が「わたし、何に在るの」と云うが(1)はだまっている。おべり盆の方へ行く。 靴 B(1)とB(1)が一組の自転車によって出るのを、A(10)が後ろからついて行く。 n. B(10)他の人の靴を並べて、自分の靴をほきながらB(10)に「お母さん、これちんちんとほって」と言う。B(10)「はいわ」と言う。 O. A(10)かごにおもちゃを入れる。A(10)しばらく見て、A(10)に「じゅんちゃん何してんの」と言う。A(10)へA(10)が来て坐る。 P. A(10)「これあかごみのやつばなりか」と言う。A(10)とA(10)が「ちがうで」と言う。A(10)「ごぞめて、さくお、はりぼてつけたるやんか」と言う。 A(10)はA(10)の顔を見せさせて「ちがうで」と言う。 q. A(10)が戸のとこへ行って「あこめらへんやんか」と云う。A(10)が「さばへ行って、しめられへん」と言う。 A(10)が戸を叩いて家の外へ出る戸をしめて西の方へ行く。</p> | |

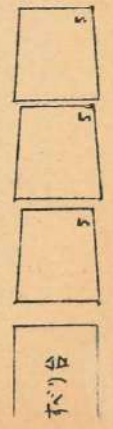
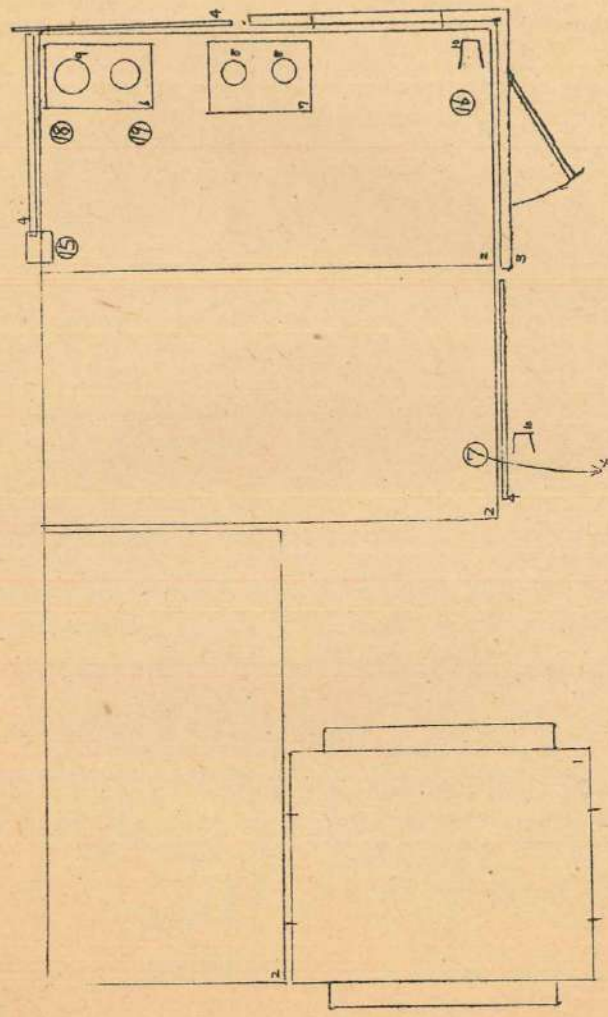
分布图 I 男 二 五



- 1 1 1 茶
- 2 1 1 茶
- 3 1 1 茶
- 4 1 1 茶
- 5 1 1 茶
- 6 1 1 茶
- 7 1 1 茶
- 8 1 1 茶
- 9 1 1 茶
- 10 1 1 茶



分布图 II 男 二 四



木台

幼児観察(予備調査) — ままごと遊びの場に分かれる幼児の結合 — 3才児

11月2日(金)晴

観察時間 10時40分〜50分

観察者 I. 今西・田中 II. 長屋 分布図・大橋

| I | | | II | | | | |
|-------------------------------------|--|---|-----------|------------------------------|--|--|--|
| 遊びの様式 | 場面 | 交渉の経過 | 役割 | 遊びの様式 | 交渉の経過 | 役割 | |
| お茶やお菓子の ごちそう作り ⑤ ⑧ ⑨ ⑪ ⑬ ⑭ | 机 ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲は生ってコップに花を入れて 店丁ごっこでごちそうを つくっている ⑮も机に砂を入れてごち そうをつくっている | <p>ア. ⑭が「おやをみまわして……ちやんいっかいがー」と言う。</p> <p>イ. ⑮が「おやあちやんごはん。」と云って ⑱にむけてくる。箱の中をさがす。</p> <p>ウ. ⑱が「ごちそうもってこ。先生、と云って。」</p> <p>エ. ⑱が ⑮にわんを渡す。 ⑮うけとる。</p> <p>オ. ⑮「はいはい。と先生にごちそうをもってくる。」</p> <p>カ. ⑭が ⑱に「かごと花をわけてこ。 ⑱かごと。」</p> <p>キ. ⑮「もう一つずつとん。またけうぜん。」と先生に出す。</p> <p>ク. ⑱が「せんせい。ごちそう出す(これは何と先生はたすねる)うぜん。」と云う。</p> <p>ケ. ⑱が ⑮に花ばらを一つ出す。 ⑮無言でうけとり、それを切る。</p> <p>コ. ⑮はい。うぜん。と先生に出す。</p> <p>サ. ⑮「これ またけうぜん。」と先生に出す。</p> <p>セ. ⑮「こらッ。外から戻ってくる。」</p> <p>ソ. ⑮「はい。」と先生に出す。 ⑮「はい。」と先生に出す。</p> <p>タ. ⑮が園長に「園長先生。」と云う。</p> <p>チ. ⑮が「まだいたいね。」と先生に云いに行く。 ⑮が「そこにはりねあん。いっかいいた。」とほらぼうに云う。 ⑮が「色のとこあんなったるやう。」と云う。 ⑮「そこをみる。 ⑮が「正日おにここごちそうってん。」と云う。</p> <p>テ. ⑮が「ちやんごち。」⑱の「ごちそうに水をはけるまねをしてまら。」</p> <p>ト. ⑮先生にごちそうもってこ。 ⑱が「ごちそう、と先生に出す。」</p> | ⑱ お母さん | 土いぢりをして いる ⑬ ⑮ 傍観⑱ | <p>⑬⑮「ちやんごち」をスパンヤ機でつくっている ⑱がそばに立って見ている</p> <p>⑱が外から戸をあけようとするのを ⑭が内側からあかないようにおさえる</p> | <p>⑮「ちやんとスパン」と ⑬の「ちやんとスパン」をさる「おやあちやん ちやんとごちばん。」と ⑱にわたす。</p> <p>⑮土をすくって机に入れて「はいごちばん。」と先生にわたす</p> <p>⑭は ⑮が戸をあけようとするとおさないようにおさえる。と云う。</p> <p>⑮は戸をあけるのをやめて ⑭の顔を尻ながら離れ行く。 ⑭は⑮の戸をみる(笑)。</p> <p>⑮が ⑬の「ちやん」へくる ⑬は「机をさし出して ⑬に「ここへいれて。どう ⑬は「ちやん、と砂を入れてやりかいてくださるや、と云う。 ⑮「机をもたす。」</p> <p>⑮が ⑬の「ちやん」の机とバケツを持っていく。 机の中の砂をバケツにあげバケツを置いて 机をちやんが机の上のせる ⑬は⑮のあとからついて⑮のおいたバケツ、机のぞく</p> | |
| お茶やお菓子の ごちそう作り ⑤ ⑧ ⑨ ⑪ ⑬ ⑭ | 机 ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲は生ってコップに花を入れて 店丁ごっこでごちそうを つくっている ⑮も机に砂を入れてごち そうをつくっている | <p>⑮が「あれ何したんか。」と外からたずねると ⑮が「ちやんいっかいがー。」と云う。 ⑮が「おやあちやん。」と云う。 ⑮が「お茶を出す(先生に) ⑮が「お茶あつ。」と先生に云ってくる。</p> <p>⑮が「お茶かして、と茶瓶(大)をもってきて、又わんを一つとる。 ⑮それをみる。</p> <p>⑮はとられたから、小さな茶瓶を⑮のところに取りに行く。</p> <p>⑮「お茶はいっ。」と先生に出す(先生「いっかいごち)。</p> <p>⑮「これ コーヒーです。(砂と花のごちそう)と出す。</p> <p>⑮「これ コーヒーです。(砂と花)とまねて出す。</p> <p>⑮「これかえしたるさかど。」と云って ⑮のところに茶を大、小とりかえる。</p> <p>⑮はたまってとりかえしてはいる</p> | | <p>ごちそう 作り ⑮ ⑬ ⑭</p> | <p>⑮が ⑬の「ちやん」の机とバケツを持っていく。 机の中の砂をバケツにあげバケツを置いて 机をちやんが机の上のせる ⑬は⑮のあとからついて⑮のおいたバケツ、机のぞく</p> | | |

幼児観察(予備調査) — ままごと遊びの場に行われる幼児の結合 — 4才児

10月29日

観察時間 10時40分 ~ 50分

観察者 I 田中、松野、正田 II 長屋、井筒

| 観察者 | I | II |
|--|--|--|
| 幼児 | D. ⑦ ⑧ ⑬ ⑭ ⑱ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ | D. ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ㉑ ㉒ ㉓ |
| 交渉の経過 | a. ㉑ わたしお母さんやで。とアガヤク。コンロに食べさせけ 花を切す | a. ⑬が「これはこっちです」と云って ⑭の持っている人形の「アプ」を取って ⑮にはさき、⑯は「外へいっ。(⑭はIの子にツク)」 |
| | b. ㉒ 菊の花を切す | b. ㉑と⑮が「1つの人形の毛をいっさうアプ」 ⑰が「おんじいじいけが」と云って ㉑に人形を渡す |
| | c. ㉑ が「はい」と云って折った菊をもって来ると ㉒が「とつたらあかやないの」と云う | c. ㉑と㉒が「アプ」の窓が割れて、しぼくして、棚のどこから入って来て、靴を履いて上る |
| | d. ㉑ が家の側に行き中をのぞく。大のかごをとって ㉒に渡す。ぶらぶらと歩く | d. ㉑が人形を持って来ると ⑮が「アプ」の「アプ」を取って ㉑が「あかんよ」と云う、⑰が「だめよ」と ⑱に云う (㉑はIのdと時間的に前後不明) |
| | e. ㉑は「お母さん、こは」と云って かごを ㉒に渡す | e. ㉑が「わたしおつかねえさん」と云うと ⑰が「わたしも」と云う、 |
| | f. ㉑は「これアプアプか」と云って プライバンに花びらを入れてアプアプ | f. ⑰が「アプ」の窓が割れて、外から子供は「ちよとあんた」と云う、しぼくして「アプ」で花をとって、「アプ」と云う、そして「アプ」をいっさう、⑱が「この花とアプ」と ⑰に云う、 |
| | g. ㉑が「砂のいっか入ったアプアプ」⇒車にアプアプアプして来ると ㉒はそれをかき「それせんたのよ かえして、とさくのすまで」出てアプアプして来ると ㉑は「これほかせせんたのよ、と、㉒が「アプ」を持って来てアプアプと ㉑は「又もとのままごと席に帰る、アプに花びらを入れて」 | g. ⑰が「これ服全部 ヤリおすねん、いっさう、シューミーズ、たけ、こはとアプアプのん、と云う、⑱が「これどうれへん、これアプ、毛とつたらあかんよ」と云う、 |
| | h. ㉑が「アプ」に坐る、㉒が「アプ」にわら、㉓もわら、㉔、㉕、㉖、㉗、㉘、㉙、 | h. ⑱が「そのかわり、わたしに貸してアプ」と云う ⑰が「あんた、おつかねえさんやろ、と云う、⑱が「わたし、お母さんやで」と云う、 |
| | i. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 | i. ⑱が「お母さん、いっさうアプアプアプ」と云う、⑰が「わたし、お母さんやで」と云う、 |
| | j. ㉑が「アプ」に「せんたのよ、いっさう、と云う、㉒が「アプ」を返す | j. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 |
| | k. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 | k. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 |
| | l. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 | l. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 |
| | m. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 | m. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 |
| | n. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 | n. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 |
| | o. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 | o. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 |
| | p. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 | p. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 |
| | q. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 | q. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 |
| | r. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 | r. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 |
| | s. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 | s. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 |
| | t. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 | t. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 |
| u. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 | u. ㉑が「アプ」を運ぶ、㉒が「こんやアプアプアプ、あかん、と云う、㉓と㉔と一緒にアプアプへて、 | |

幼児観察(予備調査) — ままごと遊びの場にみられる幼児の結合

10月29日(晴)

観察時間

9時25分—35分

観察者 I 大橋, 大沢, 井内, II 松野

| 観察 幼児 | I | II | 分布図 |
|-----------------------|---|--|-----|
| | A. ⑭, ⑮, ⑳, ㉓, ㉔, ㉕ C. ㉖, ㉗, ㉘ | C. ㉙, ㉚ A. ㉛ | |
| 交 渉 の 経 過 | a. おもちゃをわらわ、とA⑭がおもちゃをわらわしている | a. C②③ "この人形の方がぬぐるねんいっわ まりやん、かえっこせんといてや、とC② に云う。C③(②の顔を見て)またまて いじ | |
| | b. "ごはんだよそりさ、とA⑮がA⑳に云う。 | b. C① "すいりんこのとこいこか、と云う。 ㉚ "いらんわ、と云う。 | |
| | c. A⑳が "あんたそこあかちゃんねるとこへすわつてはる、とC②に云う。C② "たいごころに赤ちゃんわかしたらあかんやんか、と云う。A㉓ "かまへん、と云う | c. ㉛ "あまほに いまわら、と云う。 ㉜ "すいりんこさしたろか、と云い、すてすいりん台の方へ行く。 | |
| | d. C②③が 棚のところまでみている A⑳が "はいりみさちやん、と云う。C②③はだまってみている | d. ㉝ ㉞ ㉟ の人形のフヨッキをとりて、それの下に敷き履る。㉞ "先まいらんぞ、と云は、てんぞ、と云う。 | |
| | e. A⑱が "まて、じゅんこちゃん、と来る。A㉓が "はいり、と云う。とA⑱がついたての入口にまわつて入る | e. ㉜ "お母さんお母さん、と云い、椅子にねる ㉝ 椅子のはしにさる ㉞ 足にのり ㉟ おにりや、と云う。 | |
| | f. C②③が "これ誰か入れといて下さいや、これも脱がますからぬ、と人形の服をもつてくる A㉓が "はいはい、と云う。 | f. ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ 何に何で" ソフトクリームを下げ、と云う。A㉓ "何これ、と云く。 ㉜ "もう云いました、と云う。 | |
| | g. C②③が "ゆきさんのくつはいて、いこ、ゆきさんくつがしてや、と云つて靴をはいて出る。C②③が "まて、まて、まて、(はらう) "いっつもはいた わたしのくつはいて、と云う。 | g. ㉜ "まりやん 頼んどかんあかんで、 ㉝ に云う。㉞ "たの人といてや、と云う ㉜ "たの人といてはるあてん、このたの人か、と云う | |
| | h. C②③が "まだごはんとちがう、と云う。C②③が "ゆきちゃん、と云つて C②③に何かほろ。C②③が "知らないか、と云う。C②③が "知らないか、と云う。C②③が "知らないか、と云う。A㉓が "はいり、とC②③の顔を見ず。 | | |
| | i. A⑱が 枝の箸をもつてくる "これ花組のままごと?、と聞く "いや、あんな、とA⑱が云う。 | | |
| | j. C②③が "ゆきちゃん、よくやア、ゆきちゃんよくやア、と云う。A⑱が "あんたか?、と云う。と云う。 | | |
| | k. A⑱が キョースで水を入れるまわをする A⑱が "うん、と云う。A⑱が "こんでええやろ、くちやん、おやずもこんでええやろ、おせんの上のごちそうをみて云う。A⑱が "うん、と云う。 | | |
| | m. A⑱が "もちつきました、と云うと C②③が "どうしてスつたん、と云う。 | | |
| | n. A⑱が "お母さんのくつをきれいにそろえろ、と云う。C②③が "ちよとおかはん、とA⑱に云う。A⑱は "わたしお母さんちがうぞ、と云う。C②③が "A⑱に "みほちゃんか、と聞く "わたしちがうぞ、くちやんか、さつき云う。たやんか、と云う。A⑱が ".....、と云う (聞きとれず) | | |

o. A㉓が "あたしお母さんとちがう、わたし大っき姉さんやぞ、と云う。
k. A⑱が "ちよ、おもちゃをかして、とC②③に云う。C②③は "あかちゃんか、と云う。A⑱は "おもちゃのいれもんは、と聞く。とC②③は "これどついで、と、かまどを渡す。A⑱が "いらん、と云う。
g. C②③が "まて、まて、まて、葉をきせんぞ、A⑱のかまに "さあ、と云つて入れあげる。A⑱は見ている
y. C②③が "はい、こまへいれたいがまは、いれまよ、と云つて葉をあげる。 "はい、はい、いれといて下さい、とC②③が云う。C②③が "やあ、いっ、御飯になつたわ、と云う。C②③が "まて、まて、まて、と云う。

| 観察員 | 役割 | 幼児番号 | 経過とその図式 | 分布図(幼児遊具) | 備考 |
|-----|----|------|---------|-----------|----|
| | | | | | |

| 5才児 | 4才児 | 3才児 |
|-----------|-------------|-------------|
| 10.29(月) | 10.29(月) | 10.30(木) |
| 9.20~9.30 | 10.40~10.50 | 10.40~10.50 |
| 11.5(月) | 11.5(月) | 11.6(火) |
| 9.20~9.30 | 10.40~10.50 | 10.40~10.50 |
| 11.12(月) | 11.12(月) | 11.15(木) |
| 9.20~9.30 | 10.40~10.50 | 10.40~10.50 |
| 11.19(月) | 11.19(月) | 11.22(木) |
| 9.20~9.30 | 10.40~10.50 | 10.40~10.50 |
| 11.26(月) | 11.26(月) | 11.29(木) |
| 9.20~9.30 | 10.40~10.50 | 10.40~10.50 |

分を前後に分つ

の際はその都度変更とれることがある。

幼稚園全園児

場において遊んでいる幼児について調査する。
 されている場合他の年令児は室内にいる。

1名

1名

4名

3名

時間、終了時間及び中間時間を観察者に知れ
 をとらえる。

幼児を4名の観察者がそれぞれ分担しその行動
 を記録する。

1 5才児の移動及び場面構成最低以外に使用する遊
 具を記録する。

非調査保育 調査児以外の幼児を管理し安全をはかる。

註 予備調査において、以上の方法で観察し、検討して本調査に
 のぞく。

(3) 観察の観念

- ・ 成児間の構成 (男女、人数、移動)
- ・ 場面の構成とその変化
- ・ 交渉のあらわれかた

媒介
働きかけ
反応

注 ココ遊戯における交渉のあらわれかたがその遊戯に協力的なものか、そうでないものかというようなことを観たい。

- ・ 遊戯における役割の構成、変化、男女関係、それに伴うリーダーの発生
- ・ 遊戯における発展のしかた
 - ・ どんな問題が上るか
 - ・ 問題の移動
 - ・ 遊戯における役割とその問題との関係、その遊戯においてどんな役割の幼児がどんな問題を提案し、どんな役割の幼児がその問題をどのように処理していくか
 - ・ どんな原因によって遊戯が破壊されるか
 - ・ 遊戯において、どれ程自我が主張されるか

・ 領域の問題

- もしグループがスッ出来た場合、そのスッのグループがどのようにして各々の領域をつくるか、グループとグループとの交渉はどのように行われるか
- ・ 遊戯において、用意された遊具以外にどのような遊具をどの位使用するか、
以上の様なことを、あくまで人間の結合を主として観る

(4) 整理方法

- (3)でのべたような観察において、立体的に表現して、その実態をありのまま把握したい。
- 予備調査の結果から考慮する。

ハ. 期日及び時間

・ 調査予定日と時間

| | 日 時 度 | 年令 | | |
|------|-------------|------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | | 5才児 | 4才児 | 3才児 |
| 予備調査 | 1 | 10.29 (月) 9.20~9.30 | 10.29 (月) 10.40~10.50 | 10.30 (火) 10.40~10.50 |
| 本調査 | 1 | 11.5 (月) 9.20~9.30 | 11.5 (月) 10.40~10.50 | 11.6 (火) 10.40~10.50 |
| 〃 | 2 | 11.12 (月) 9.20~9.30 | 11.12 (月) 10.40~10.50 | 11.15 (木) 10.40~10.50 |
| 〃 | 3 | 11.19 (月) 9.20~9.30 | 11.19 (月) 10.40~10.50 | 11.22 (木) 10.40~10.50 |
| 〃 | 4 | 11.26 (月) 9.20~9.30 | 11.26 (月) 10.40~10.50 | 11.29 (木) 10.40~10.50 |

注・調査時間 10分を前後に分つ

・ 調査日が雨天の際はその都度変更とれることがある。

ニ. 対象 幼稚園全園児

各年令毎にその場において遊んでいる幼児について調査する。

注・或年令児が調査されている場合他の年令児は室内にいる。

ホ. 観察者

| | |
|-------|----|
| 時間・写真 | 1名 |
| 分 布 | 1名 |
| 観 察 | 4名 |
| 非調査保育 | 3名 |

ハ. 観察法

- ・ 時 間 開始時間、終了時間及び中間時間を観察者に知らせる。
- ・ 写 真 場面をとらえる。
- ・ 観 察 調査幼児を4名の観察者がそれぞれ分担し、その行動のすべてを記録する。
- ・ 分 布 調査幼児の移動及び場面構成最低以外に使用する遊具を記録する。
- 非調査保育 調査児以外の幼児を管理し安全をはかる。
- 注 予備調査において、以上の方法で観察し、検討して本調査にのぞむ。

幼児の社会性について II

——特に遊具使用の場面にみられる——
 ままごと遊びの場における幼児結合の実態

1) 研究目的

ごっこ遊びの集団における成員間の交渉の経過を通じてその構造、
 発展状態及び社会技術を明らかにする。

註. 単純な個人間の交渉でなく、ごっこ遊びの場において個人個人が
 どのようにして一つの遊びを構成し発展させていくかというよう
 なことを観たい。

2) 調査方法

1. 場所 園庭西、すべり台東側

2. 場面

・用意する遊具

| | |
|------------|---|
| ついたて (2枚折) | 1 |
| ままごとの家 | 1 |
| ごっこ | 3 |
| ままごと遊具 | 1 |
| 椅子 (玩具用) | 3 |
| 人形 | 2 |
| 人形ふせん | 4 |
| バケツ | 2 |
| かご (木、小) | 2 |
| 構 | 3 |

以上を使用する最低遊具とし、幼児達が他の遊具を自由に追加し
 てもかまわない。

・場面構成

調査する直前にいつも同じ場所に遊具を配分して条件を揃える。
 そして幼児に、自由に場면을構成させる。

註. 毎日所定の位置にしつらえにおいて自由に使用させ親しみを感じ
 させる。

・遊具の準備、後片付けは当番がする。

ハ. 期日及び時間
 ・ 調査予定日と時間

| 予備調査 | 回数 | 日 時 年令 | | |
|------|----|-------------|-------------|-------------|
| | | 5才児 | 4才児 | 3才児 |
| 1 | 1 | 10.29 (月) | 10.29 (月) | 10.30 (火) |
| | | 9(時)20~9.30 | 10.40~10.50 | 10.40~10.50 |
| 本調査 | 1 | 11.5 (月) | 11.5 (月) | 11.6 (火) |
| | | 9.20~9.30 | 10.40~10.50 | 10.40~10.50 |
| " | 2 | 11.12 (月) | 11.12 (月) | 11.15 (木) |
| | | 9.20~9.30 | 10.40~10.50 | 10.40~10.50 |
| " | 3 | 11.19 (月) | 11.19 (月) | 11.22 (木) |
| | | 9.20~9.30 | 10.40~10.50 | 10.40~10.50 |
| " | 4 | 11.26 (月) | 11.26 (月) | 11.29 (木) |
| | | 9.20~9.30 | 10.40~10.50 | 10.40~10.50 |

註. 調査時間 10分を前後に分つ

・ 調査日が雨天の際はその都度変更とれることがある。

二. 対象 幼稚園全園児

各年令毎にその場において遊んでいる幼児について調査する。

註. 或年令児が調査されている場合他の年令児は室内にいる。

ホ. 観察者

| | |
|-------|----|
| 時間・写真 | 1名 |
| 分 布 | 1名 |
| 観 察 | 4名 |
| 非調査保育 | 3名 |

ハ. 観察法

・ 時 間 開始時間、終了時間及び中間時間を観察者に知らせる。

・ 写 真 場面をとらえる。

・ 観 察 調査幼児を4名の観察者がそれぞれ分担し、その行動のすべてを記録する。

・ 分 布 調査幼児の移動及び場面構成最低以外に使用する遊具を記録する。

・ 非調査保育 調査児以外の幼児を管理し安全をはかる。

註. 予備調査において、以上の方法で観察し、検討して本調査にのぞく。

